

エンドオブライフケア委員会 7月の活動報告



エンドオブライフケア委員会では、人生の最終段階を意識して、身体的・精神的・社会的側面から最期のその時がくるまで尊厳をもった自律した活動の支援をおこなっています。

令和6年度も患者さんやご家族様に対して心穏やかに、そして、安心して療養されることを目的に様々な取り組みを行っていきます。

先ず、本年度の最初の取り組みは「七夕活動」です。

「七夕活動」を通して患者さんの感情にどのような変化があったのか評価結果を交えて報告いたします。

短冊作り

① 七夕活動の目的

本活動は、短冊にポジティブな願いを書くことで情動へと働きかけ生活意欲が向上することを期待しています。また、ご家族様が面会に来られた際には短冊を手段として家族との交流を深める事を目的としています。

日時：令和6年7月3日(水) 14:00~14:30

場所：病棟2F 食堂

参加者(患者)：16名

参加者(職員)：医師・看護師・介護士・理学療法士・作業療法士

活動内容：短冊に願いを書いたり、シールやスタンプを付けて自分だけの短冊を作成しました。



様々な思いを短冊に乗せて書いています！1枚では足りず・・・2・3枚書いていた患者さんもありました★



2枚の写真にある笹や七夕の飾りは、患者さんが切ったり・貼ったりして作成されました！
皆さんの手先の器用さにびっくりです！！

今年は、本物の笹を病棟に飾りました♪

エンドオブライフケア委員会×栄養課 ～行事食の提供～



七夕活動当日には、エンドオブライフケア委員会×栄養課と協働し行事食も提供しました。
今回の行事食は、患者さんに夏の写真を提示し、夏の思い出や夏に食べた思い出の食べ物を思い出してもらい（回想療法）、それを栄養課が形にして提供しました。

〇お品書き〇 1.夏野菜カレー 2.水芋の酢醤油かけ 3.七夕そうめん 4.スイカのジュレ寄せ



常食

ソフト食

嚥下の問題から、
普段形のないお食
事をされている患
者さんにも、形のあ
るお食事を提供す
ることが出来ました



～患者さんからの声～

・見た目もきれいでおいしかった ・水芋が懐かしかった ・すごくおいしかった
カレーのご飯は星形に形成され、見た目からでも七夕を感じさせてくれるお食事となりました！

エンドオブライフケア委員会×栄養課 ～おはぎづくり～

この
参加者

参加者(職員)：医師・看護師・管理栄養士・調理師・作業療法士・理学療法士・言語聴覚士・介護士

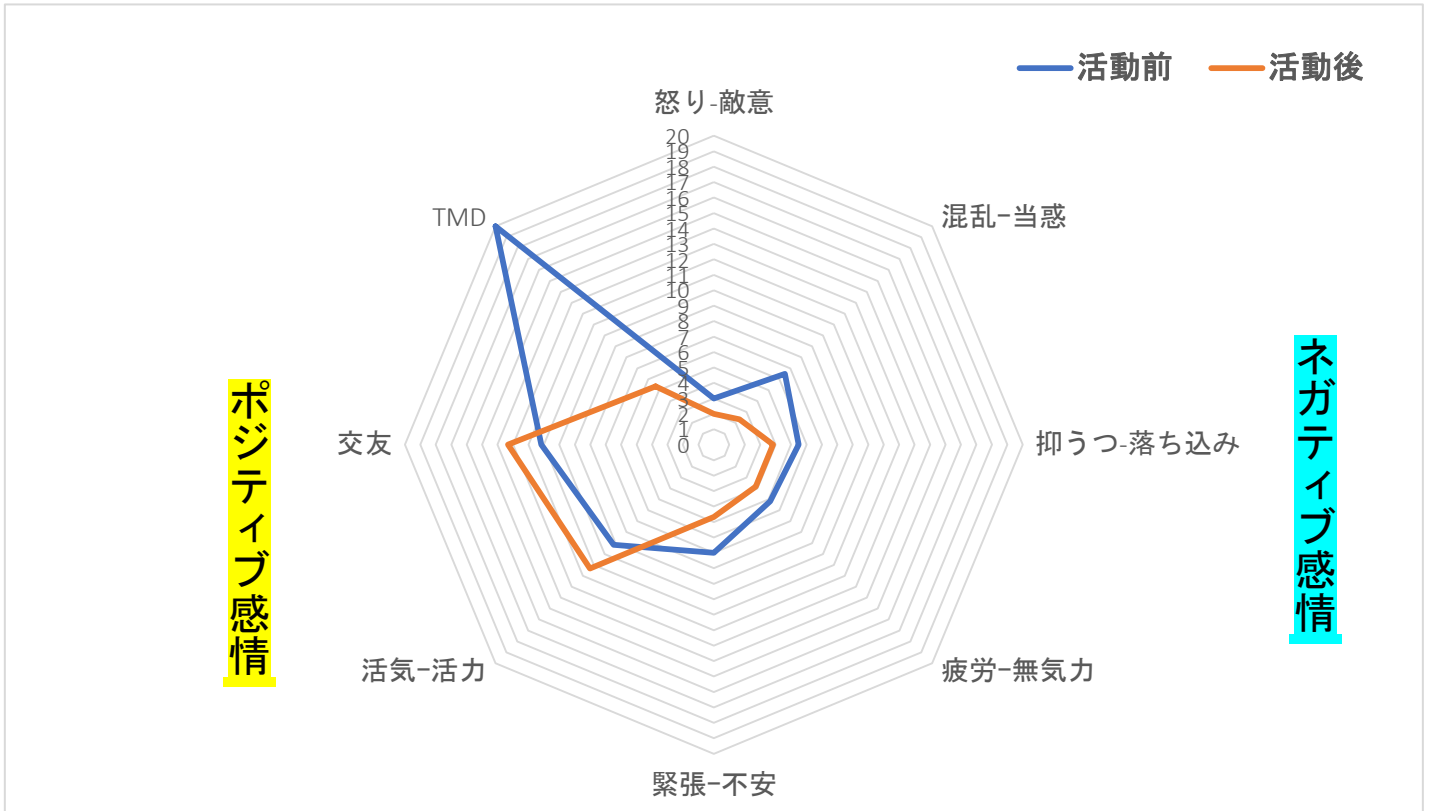


ご飯
思い
生き

七夕・おはぎ作りを通しての気分感情評価結果

七夕・おはぎ作りを通しての気分感情評価結果
七夕・おはぎ作りを通しての気分感情評価結果
七夕・おはぎ作りを通しての気分感情評価結果

さて、今回の七夕活動においてどのような気分感情の変化がおきたのか以下に示したいと思います。



上記表は、6名の患者さんから活動前の気分(青線)と活動後(オレンジ線)の気分を表にしたものです。ネガティブ感情である「怒り-敵意 混乱-当惑 抑うつ-落ち込み 疲労-無気力 緊張-不安」の項目においては活動後には軽減され、心理的・精神的によい影響を与えたことが分かります。また、ポジティブ感情である「交友 活気-活力」は向上した結果となったことから様々な患者さんと交流し非日常の活動を行う事は心身の健康に繋がると考えます。

今後も活動を通して**その人らしさを尊重する活動**を提供していきます。